

日本マイコトキシン学会

第 83 回学術講演会

期 日 平成 31 年 1 月 11 日(金) 10:00～18:10

会 場 サンピアンかわさき (川崎市立労働会館)
大ホール他
〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見 2-5-2

主 催 日本マイコトキシン学会

世話人 国立医薬品食品衛生研究所 大西 貴弘

問い合わせ先

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-26
国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部第 4 室
TEL : 044-270-6574

講演要旨集目次

	頁
お知らせ	1
会場案内	2 - 4
タイムテーブル	5
プログラム	6 - 9
講演要旨	
特別講演	10 - 12
受賞講演	13 - 15
シンポジウム	16 - 18
一般講演	19 - 26
ポスターセッション	27 - 39
ランチョンセミナー	40 - 43
協賛企業一覧	44 - 45
広告	46 - 56

お知らせ

【会場使用上の注意】

講演会場を含めて飲食ができますが、**ごみの分別**（①燃えるゴミ、②不燃物、③びん・缶・ペットボトル）にご協力をお願い致します。館内は**全館禁煙**です。喫煙される方は正面入口を出て左手の館外喫煙所をご利用ください。

【一般講演】

会場：大ホール

口頭発表は発表 12 分、質疑応答 3 分です。10 分で 1 鈴、12 分で 2 鈴、15 分で 3 鈴を鳴らします。パソコンのスライド送り操作は、**演者ご自身で行っていただきます。**

【ポスターセッション】

会場：大ホール前ホワイエ

ポスターは **11:00 までに掲示**してください。ポスター発表のコアタイムは 14:30～15:30 の 1 時間です。発表者は必ずポスターの前に待機してください。掲示に必要なピン（画鋏）は用意してあります。ポスター発表時間終了後、**16:30 までにポスターの撤去**をお願いします。

【企業展示】

会場：大ホール前ホワイエ

時間：10:30～17:00

【ランチョンセミナー】

会場：4 階第 3 会議室

時間：12:20～13:20

【幹事会】

会場：3 階第 1 研修室

時間：12:20～13:20

【懇親会】

会場：2 階第 1 交流室

時間：18:20～20:20

会場へのアクセス

サンピアンかわさき

(川崎市立労働会館)

〒210-0011

川崎市川崎区富士見 2-5-2

TEL:044-222-4416



徒歩

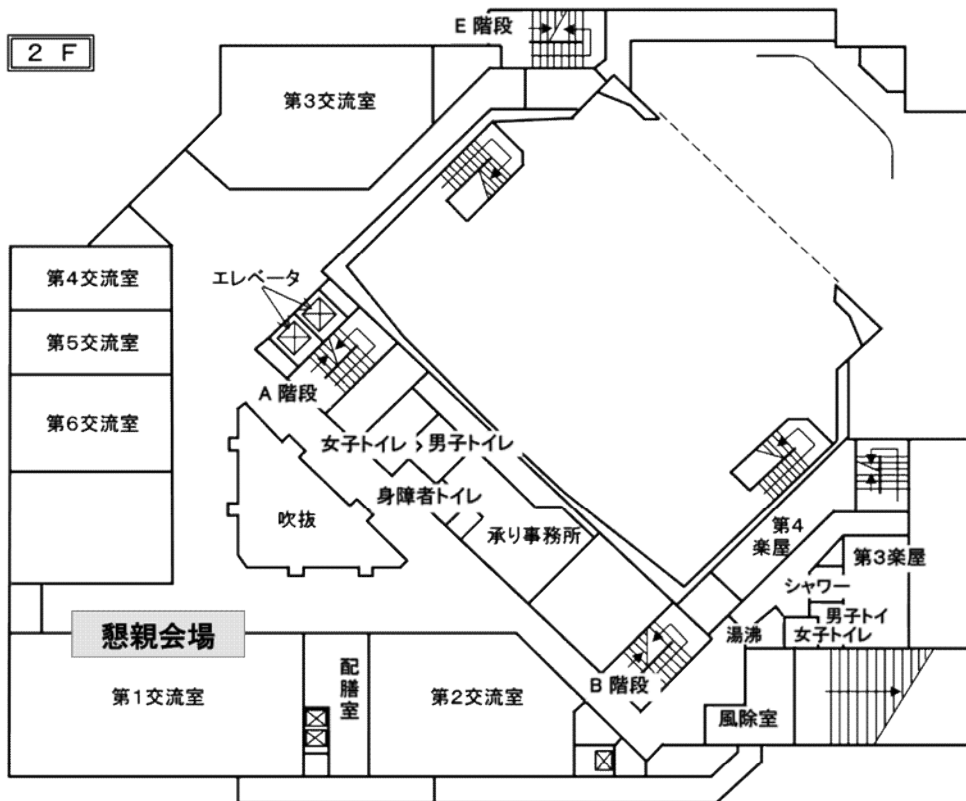
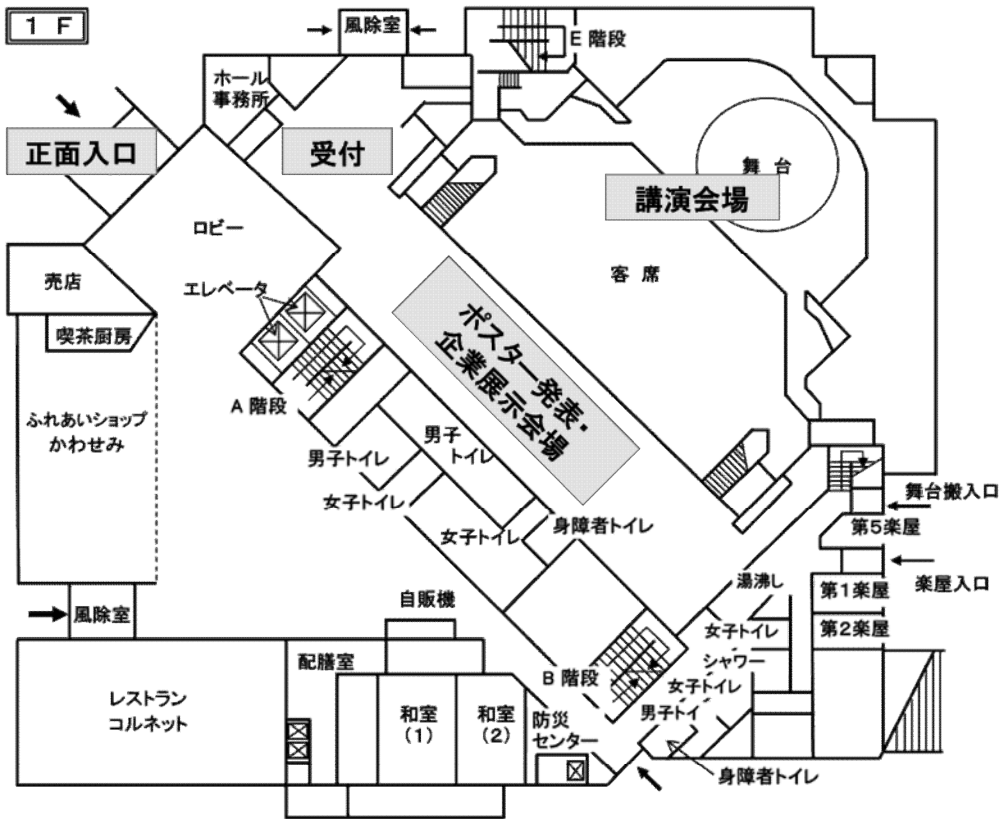
JR『川崎駅』東口、京浜急行『京急川崎駅』下車 徒歩約 20 分
京浜急行大師線『港町駅』下車 徒歩約 11 分

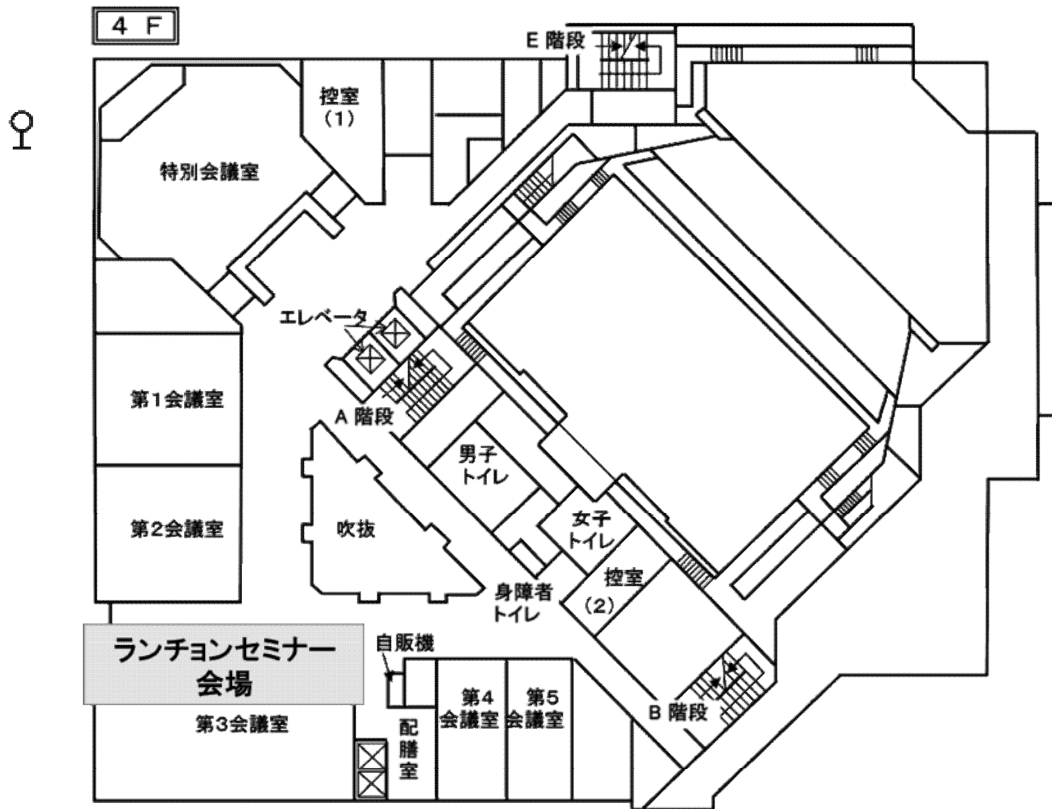
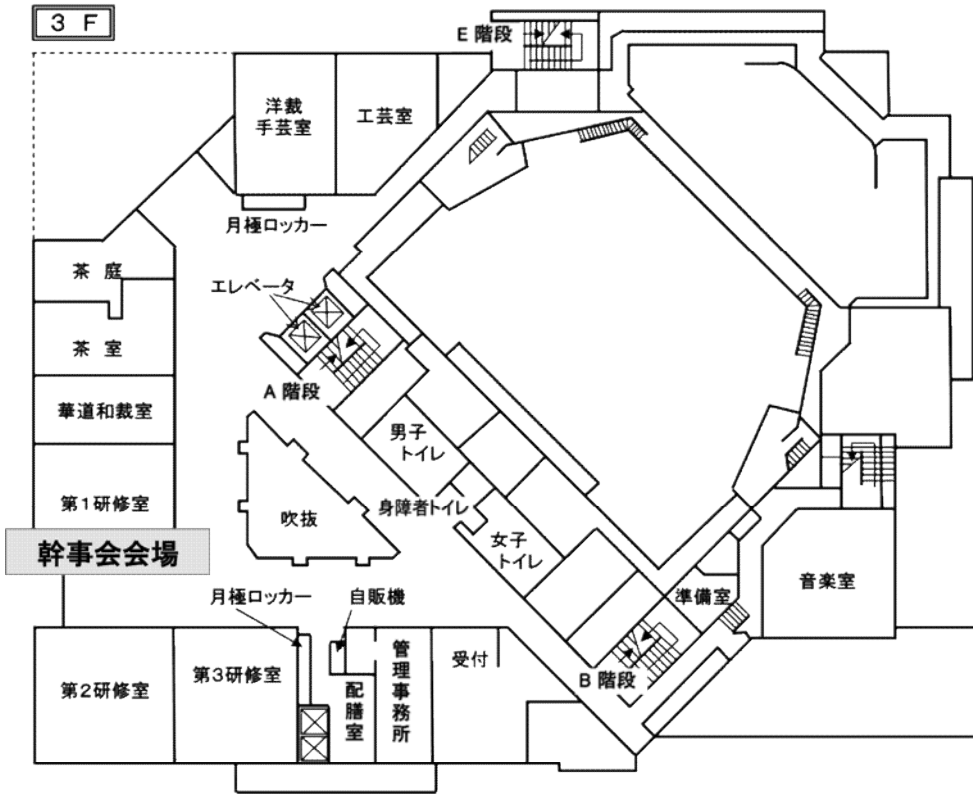
バス

川崎駅東口バス乗り場 11～16、または「銀柳街入口」から
川 03、04、05、07、10、13 系統のバス「労働会館前」下車 徒歩 2 分

急行のバスは止まりませんので、ご注意ください。







日本マイコトキシン学会第 83 回学術講演会

タイムテーブル

9:30－	受付
10:00－10:05	開会挨拶
10:05－11:05	一般講演 (O-1～O-4)
11:05－11:20	休憩
11:20－12:05	一般講演 (O-5～O-7)
12:20－13:20	ランチョンセミナー、幹事会
13:30－14:00	総会及び授賞式
14:00－14:30	受賞講演
14:30－15:30	ポスターセッション (P-1～P-11)
15:30－16:50	シンポジウム (S-1～S-2)
16:50－17:00	休憩
17:00－18:00	特別講演
18:00－18:05	次回学術講演会世話人挨拶
18:05－18:10	閉会挨拶
18:20－20:20	懇親会(2 階第 1 交流室)

日本マイコトキシン学会第83回学術講演会プログラム

日 時：2019年1月11日（金） 10:00～18:10（受付 9:30～）

場 所：サンピアンかわさき（川崎市川崎区富士見 2-5-2）
ランチョンセミナーを除き、講演は1階の大ホールで行います。

プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部長 工藤 由起子

10:05-11:05 一般講演 (O-1 ~ O-4)

座長： 渡辺 麻衣子（国立医薬品食品衛生研究所）
吉成 知也（国立医薬品食品衛生研究所）

O-1 国産りんご果汁中のパツリンの含有実態

○漆山 哲生、尾松 雄士、須永 恭之、山田 友紀子
農水省

O-2 国内流通食品におけるステリグマトシスチンの汚染実態調査

○吉成 知也¹、小杉 正樹²、佐藤 英子³、七戸 八重子⁴、竹内 浩⁵、谷口 賢⁶、
藤吉 智治⁷、脇 ますみ⁸、小西 良子⁹、大西 貴弘¹、工藤 由起子¹
¹国立衛研、²（一財）日本食品分析センター、³川崎市健康安全研究所、
⁴（一財）日本食品検査、⁵三重県保健環境研究所、⁶名古屋市衛生研究所、
⁷（一財）食品分析開発センターSUNATEC、⁸神奈川県衛生研究所、
⁹麻布大・生命環境

O-3 国内流通穀類におけるステリグマトシスチン産生菌の分布に関する研究

○佐藤 和貴¹、吉成 知也²、窪崎 敦隆²、小林 直樹³、小西 良子³、工藤 由起子²、
渡辺 麻衣子²
¹東京バイオ専門学校、²国立衛研、³麻布大・生命環境

O-4 Modification of fumonisin B₁ with various saccharide molecules (各種糖分子によるフモニシン B₁ の誘導化)

○Yin Min Htun、久城 真代、中川 博之
農研機構

11:05-11:20 休憩

11:20-12:05 一般講演 (O-5 ~ O-7)

座長： 須賀 晴久 (岐阜大学)

O-5 外部から加えた抗酸化酵素によるアフラトキシン生産の制御機構

○古川 智宏、作田 庄平

帝京大・理工

O-6 イソチオシアン酸エステル類のアフラトキシン産生菌に及ぼす影響の検討

○晴山 陽平^{1,2}、藤井 義晴¹、久城 真代²

¹東京農工大、²農研機構

O-7 フザリウムのトリコテセン経路酵素遺伝子の進化に伴う基質特異性の変化

○田中 佑弥¹、杉浦 涼介¹、足立 健太郎²、新海 航輝²、前田 一行^{1,4}、中嶋 佑一¹、
吉成 知也³、金丸 京子¹、小林 哲夫¹、安藤 直子²、木村 真¹

¹名大院・生命農、²東洋大院・理工、³国立衛研、⁴明治大院・農

12:20-13:20 ランチョンセミナー (同時刻に幹事会開催 幹事会会場：3階第1研修室)

ランチョンセミナー会場：4階第3会議室

L-1 BIOMIN JAPAN 株式会社

L-2 ジーエルサイエンス株式会社

L-3 アジレント・テクノロジー株式会社

13:30-14:00 総会及び授賞式

14:00-14:30 受賞講演

座長：作田 庄平 (帝京大学)

学術奨励賞

「フザリウムの遺伝子発現解析ツールの整備とトリコテセン遺伝子発現制御に関する研究」

中嶋 佑一 (名古屋大学大学院)

14:30-15:30 ポスターセッション (P-1 ~ P-11)

ポスター会場：講演会会場前ホワイエ

ホワイエにて付設展示同時開催

P-1 LCMSMS を用いた飼料中のトリコテセン系カビ毒分析に関する検討

○岸田 拓也、矢本 寛子

(株) 食環境衛生研究所

- P-2 QuEChERS 抽出と脂質除去用固相カラムを使用した乳児用調製乳中のマイコトキシンの分析
Derick Lucas、○山下 和之
アジレント・テクノロジー (株)
- P-3 ステリグマトシステインの ELISA によるスクリーニング法の開発
○加田 睦月¹、内ヶ島 美岐子²、吉成 知也³、三宅 司郎¹、小林 直樹¹、小西 良子¹
¹麻布大・生命環境、²(株)堀場、³国立衛研
- P-4 *Fusarium* 属菌による各種トリコテセンの糖抱合の解析
○新海 航輝¹、松井 宏介¹、相川 俊一²、木村 真³、安藤 直子¹
¹東洋大院・理工、²東洋大・工技研、³名大院・生命農
- P-5 *Fusarium sporotrichioides* 二重遺伝子破壊株による新規 C-7 位水酸化 A 型トリコテセンの創製
○足立 健太郎¹、小豆畑 隼²、中嶋 佑一³、木村 真³、安藤 直子^{1,2}
東洋大院・理工¹、東洋大・理工²、名大院・生命農³
- P-6 Development of the method for aggressiveness assay of *Fusarium fujikuroi* on rice germination
○Sultana Sharmin¹、Shimizu Masafumi²、Kageyama Koji³、Suga Haruhisa⁴
¹UGSAS, Gifu Univ.、²Fac. Appl. Biol. Sci., Gifu Univ.、³River Basin Res. Center, Gifu Univ.、⁴Life Sci. Res. Center, Gifu Univ.
- P-7 ジクロロボス-アンモニア (DV-AM) 法を用いた養蜂場におけるアフラトキシシン生産菌の検出
○西脇 瑛舜、湯下 実穂、山田 悠貴、矢部 希見子
福井工大・環境・食品
- P-8 ジクロロボス-アンモニア (DV-AM) 法を用いた複数地域におけるアフラトキシシン生産菌のスクリーニング
○山本 侑加、角屋 直暉、舘 大樹、矢部 希見子
福井工大・環境・食品
- P-9 アスペルギルス・ニドランズ ST クラスター転写因子 AfIR の性状解析
○仲西 勝海、清水 公德
東理大・生物工
- P-10 アスペルギルス属菌 AfIR の機能相補性
○大橋 侑加、清水 公德
東理大・生物工

P-11 アスペルギルス・ニドランズ転写因子 AfIR の細胞内局在
○中尾 若菜、清水 公德
東理大・生物工

15:30-16:50 シンポジウム

「DON の基準値をめぐる最近の動きとリスク管理」
座長：高橋 治男（国立医薬品食品衛生研究所）

S-1 食品安全委員会における DON のリスク評価の審議状況
宮崎 茂（一財）生物科学安全研究所）

S-2 我が国における麦類中の DON のリスク管理と含有実態
漆山 哲生（農林水産省消費・安全局）

16:50-17:00 休憩

17:00-18:00 特別講演

座長：大西 貴弘（国立医薬品食品衛生研究所）

フグにおけるフグ毒の機能について—フグ毒の二重性—
斎藤 俊郎（東海大学）

18:00-18:05 次回学術講演会世話人挨拶

第 84 回学術講演会世話人 須永 修（BIOMIN JAPAN 株式会社）

18:05-18:10 閉会挨拶

第 83 回学術講演会世話人 大西 貴弘（国立医薬品食品衛生研究所）

18:20-20:20 懇親会

会場：サンピアンかわさき（2 階第 1 交流室）

（※プログラムは細部を修正する場合があります。ご了承ください。）